

平成24年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	アセアン地域フォーラム不拡散・軍縮会期間会合		担当部局庁	軍縮不拡散・科学部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度開始		担当課室	軍備管理軍縮課		課長 吉田謙介		
会計区分	一般会計		施策名	II-1 国際の平和と安定に対する取組				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際的・地域的な軍縮不拡散の喫緊の諸課題を政策者間で率直に議論することを通じて、核をはじめとする大量破壊兵器や通常兵器の軍縮努力及び軍備の透明性向上に向けた地域・国際社会の機運を醸成し、各国の具体的取組につなげていく。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	アセアン地域フォーラム(ARF)は、アジア地域における安全保障に関する重要な枠組であり、様々なテーマに関する会期間会合が実施されている。本件会期間会合は2009年に立ち上げられ、2011年までの会期において米国、シンガポール及び中国が共同議長を務め、軍縮、不拡散、原子力の平和的利用をテーマにそれぞれの国で専門家会合が開催された。2012年からの会期では、我が国、豪州及びフィリピンが共同議長を務めており、2012年に豪州が不拡散をテーマに専門家会合を開催し、2013年にフィリピンが原子力の平和的利用をテーマに会合を開催予定。本件事業は、会期最終年である2014年に軍縮をテーマに我が国が開催する専門家会合として想定しているもの。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	-	-	-	1		
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
	計	-	-	-	-	1		
	執行額	-	-	-	-	-		
執行率(%)	-	-	-	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)	
	(目標)アジア地域における軍縮・不拡散の促進。		成果実績	会議開催			1	
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	(指標)本件会期間会合はARFにおいても立ち上げから間もない枠組であり、またアジア地域においてはこれまで軍縮・不拡散について議論するフォーラムが存在していなかったところ、可能な限り多くのメンバー国の参加を得て、軍縮・不拡散について議論する機運を醸成することが重要。従って、本件会合参加国が活動指標として適当。		活動実績(当初見込み)	国				-
					()	()	()	(25)
単位当たりコスト	1,474千円/回		算出根拠	会議開催経費 1,474千円/1回				
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	会議費	-	0.8					
	機器借料	-	0.4					
	人件費	-	0.3					
	計		1					

事業所管部局による点検

	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	北朝鮮の核問題など、アジア地域の安全保障環境の改善にとり、核軍縮の進展は喫緊の課題であり、国民の関心も非常に高い。また、核兵器という各国の安全保障に深く関わる事項を扱うことから、地方自治体や民間企業では代替不可。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	本件会議に要する経費は、会議開催に伴う機器借料等の最小限の経費に限定している。支出先は、単価契約業者を除き、競争性により選定する。また、見積もり合わせを実施、コスト削減に努める。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本件会期間合合はARFにおいても立ち上げから間もない枠組であり、またアジア域においてはこれまで軍縮・不拡散について議論するフォーラムが存在していなかったところ、可能な限り多くのメンバー国の参加を得て、軍縮・不拡散について議論する機運を醸成することが重要。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	北東アジアを中心とするアジア地域においては、核問題が引き続き地域の安全保障上の重要課題となっており、その早期解決に向けた一層の取組が求められている。		
予算監視・効率化チームの所見			
－			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	